

( 計 画 名 )	伊勢区域都市開発区域建設計画
( 策 定 主 体 )	三 重 県
<p>( 地域の課題 )</p> <p>豊かな自然や歴史文化などの資源に恵まれているが、十分に集客交流に活用できていないことから、平成 25 年に行われる伊勢神宮の式年遷宮に向けて、魅力ある都市空間づくりを行う必要がある。</p> <p>快適なまちづくりを推進するための生活・都市基盤の整備や新たな企業の進出、産業の創出を図るための交通・産業基盤の整備が求められているとともに、資源循環型社会の構築が課題である。</p> <p>東海、東南海・南海地震などの大規模地震の発生が切迫していることから、自助・共助・公助による地震対策とともに、減災のための更なる取組が必要である。</p> <p>( 計画の概要 )</p> <p>(1) ネットワーク形成のための基盤整備  第二名神高速道路等の高規格幹線道路や国道 23 号中勢バイパス、国道 42 号松阪多気バイパス等の直轄国道の整備、及び「新道路整備戦略」に基づく県管理道路の整備を進めるとともに、中部国際空港へのアクセスルートの充実を図る。</p> <p>(2) 訪れたいくなる地域づくり  伊勢神宮の式年遷宮に向けて、観光客が訪れたいくなるまちづくりを推進する。</p> <p>(3) 地域経済を支える戦略的な産業振興  産業技術の一翼を担う地域として、中勢北部サイエンスシティやニューファクトリーひさい工業団地等への研究所や企業の誘致を推進する。  フラットパネルディスプレイ ( F P D ) 産業の集積を目指す<u>クリスタルバレー</u>構想や燃料電池研究開発の拠点化及び関連産業の集積に取り組むとともに、環境関連産業の集積を目指して、エコタウン事業も展開する。</p> <p>(4) 快適なまちづくり  障害者や高齢者をはじめとするすべての住民が地域で自由かつ安全に行動できるよう<u>ユニバーサルデザイン</u>を取り入れた施設の整備を進める。  良好な景観に配慮した潤いのあるまちづくりを進めるとともに、流域下水道や公共下水道、都市公園、文化施設、福祉施設など、本県の中核機能を担うにふさわしい都市・生活基盤の整備を進める。</p> <p>(5) 環境保全  伊勢湾について、総合的・広域的な見地から、水環境の再生や多様な生態系の回復に向けた<u>広域的な諸施策</u>を推進する。  <u>ごみゼロ社会の実現</u>に向けて、住民、事業者、市町と協働して取り組むとともに、産業廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用を促進する。</p> <p>(6) 安全・安心を実感できる地域社会づくり  東海、東南海・南海地震に対する<u>減災のための取組</u>として、避難路等を整備するなどの避難体制を確立するとともに、公共施設等の耐震化を進める。</p>	